

主要外用用剤一覧

監修 山本一哉 愛育病院皮膚科部長
(前国立小児病院皮膚科医長)

この一覧表には種々の利用法が考えられます。

患者の立場から

- 初診時には、これまでよりもっと病気に合った外用剤が処方されることを期待したい。
- どのような外用剤が投薬されるかを知っていれば使う時の間違いがなくなる。
- 再診時には、使用した外用剤の効果などを医師に正しく伝えることができる。

医師の立場から

- 初診時には、従来使われていた外用剤を正確に聞き出しておく必要がある。
- 投薬する外用剤を見せながら説明すれば、誤認・誤用を防ぐことができる。
- 再診時には、経過に応じた外用剤の処方調製のために、正しく薬効を評価しうる。

以上のようなことが必要と思われる時に、この一覧表をお役立てください。

医師と患者との相互の信頼関係のうえに正しい情報の交換がなされることで、医療の効果がいっそう高められると信じます。

外用ステロイド剤の臨床効果（①軟膏基剤を基準とした ②製品名の剤型、成分含量の記載は省略した）

I 群	a 0.05%	クロベタゾールプロピオン酸エステル (デルモベート)	I 群: strongest II 群: very strong III 群: strong IV 群: mild V 群: weak <注> a: 軟膏とクリームが同ランクであるもの b: 軟膏がクリームより1ランク上であるもの c: 軟膏がクリームより1ランク下であるもの d: 軟膏とクリームの差が不明のもの
	a 0.05%	ジフロラゾン酢酸エステル (ジフラル、ダイアコート)	
II 群	b 0.1%	モメタゾンフランカルボン酸エステル (フルメタ)	
	a 0.05%	ベタメタゾン酪酸エステルプロピオン酸エステル (アンテベート)	
	d 0.05%	フルオシノニド (トブシム)	
	a 0.064%	ベタメタゾンジプロピオン酸エステル (リンデロン-DP)	
	a 0.05%	ジフルブレドナート (マイザー)	
	b 0.1%	アムシノニド (ビスダーム)	
III 群	b 0.1%	吉草酸ジフルコルトロン (テクスメテン、ネリゾナ)	
	b 0.1%	酪酸プロピオン酸ヒドロコルチゾン (バンデル)	
	a 0.3%	デブロンプロピオン酸エステル (エクラ)	
	c 0.1%	デキサメタゾンプロピオン酸エステル (メサデルム)	
	c 0.12%	デキサメタゾン吉草酸エステル (ボアラ、ザルックス)	
	a 0.1%	ハルシノニド (アドコルチン)	
	d 0.12%	ベタメタゾン吉草酸エステル (ベトネベート、リンデロン-V)	
	d 0.025%	ベクロメタゾンプロピオン酸エステル (プロパデルム)	
IV 群	d 0.025%	フルオシノロンアセトニド (フルコート)	
	b 0.3%	吉草酸酢酸ブレドニゾロン (リドメックス)	
	d 0.1%	トリアムシノロンアセトニド (レダコート、ケナコルト-A)	
	d 0.02%	フルメタゾンビバル酸エステル (テストーゲン)	
	0.1%	アルクロメタゾンプロピオン酸エステル (アルメタ)	
	0.05%	クロベタゾン酪酸エステル (キンダベート)	
	d 0.1%	ヒドロコルチゾン酪酸エステル (ロコイド)	
V 群	0.1%	デキサメタゾン (デキサメタゾン)	
	d 0.5%	ブレドニゾロン (ブレドニゾロン)	

(島雄周平らの分類に追補)

外用合成副腎皮質ホルモン剤

【薬名】

デルモベート®
クロベタゾールプロピオン酸エステル

軟膏0.05%
クリーム0.05%
スカルプローション0.05%

<薬価基準収載>

外用合成副腎皮質ホルモン剤

キンダベート®
クロベタゾン酪酸エステル

軟膏0.05%

<薬価基準収載>

効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等は、各製品添付文書をご参照ください。

製造販売元(資料請求・問い合わせ先)

グラクソ・スミスクライン株式会社

〒151-8566 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-6-15 GSKビル

http://www.glaxosmithkline.co.jp

プロモーション提携

株式会社 ポーラ ファルマ

主要外皮用剤一覧

I 群 Strongest

デルモベート
軟膏 クリーム



ダイアコート
軟膏 クリーム



ジフラル
軟膏 クリーム



II 群 Very Strong

フルメタ
軟膏 クリーム*2



アンテベート
軟膏 クリーム



トプシム*1
軟膏 クリーム Eクリーム



リンデロン-DP
軟膏 クリーム



マイザー
軟膏 クリーム



ビスダーム
軟膏 クリーム*2



II 群 Very Strong

ネリゾナ
軟膏 クリーム*2 ユニバーサル
クリーム*2



バンデル
軟膏 クリーム*2



III 群 Strong

エクラ
軟膏 クリーム



メサデルム
軟膏 クリーム*3



ボアラ
軟膏 クリーム*3



ベトネベート*1
軟膏 クリーム



リンデロン-V*1
軟膏 クリーム



プロパデルム*1
軟膏 クリーム



フルコート*1
軟膏 クリーム



リドメックス*4
軟膏 クリーム



IV 群 Mild

アルメタ キンダベート ロコイド*1



配合剤

リンデロン-VG*1 ベトノバルG*1 ベトネベートN*1 フルコートF



非ステロイド系抗炎症剤

アンダーム スタデルム コンベック



免疫調整外用剤

プロトピック



※製品の写真は、2009年5月現在、市場に流通しているものを見本として掲載しました。

※ステロイド剤（I～IV群）、配合剤は5gチューブ、非ステロイド系抗炎症剤は10gチューブを撮影しました。
（ただし、リンデロン-DPおよびリンデロン-Vは10gチューブです）

※臨床効果の分類（I群～IV群）は表紙の島雄らの分類（軟膏基剤を基準）を参考にしました。同一製品でも剤型により臨床効果は異なります。

下記の*1、*2、*3、*4をご参照ください。

*1：軟膏とクリームの効果の差が不明のものです。 *2：クリームはIII群にランクされています。 *3：クリームはII群にランクされています。

*4：軟膏はIII群とIV群の中間に、クリームはIV群にランクされています。 軟膏、クリームとも無印のものは両方が同ランクです。

主要外皮用剤リスト

	成 分	製 品 名	販売元／発売元
ステロイド剤	0.05% クロベタゾールプロピオン酸エステル	デルモベート軟膏 0.05% デルモベートクリーム 0.05%	グラクソ・スミスクライン ◇
	0.05% ジフロラゾン酢酸エステル	ダイアコート軟膏 ダイアコートクリーム	ファイザー ◇
		ジフラール軟膏 0.05% ジフラールクリーム 0.05%	アステラス製薬 ◇
		フルメタ軟膏 フルメタクリーム	塩野義製薬 ◇
	0.05% ベタメタゾン酪酸エステル プロピオン酸エステル	アンテベート軟膏 0.05% アンテベートクリーム 0.05%	鳥居薬品 ◇
	0.05% フルオシノニド	トプシム軟膏 0.05% トプシムクリーム 0.05% トプシムE クリーム 0.05%	田辺三菱製薬 ◇ ◇
		リンデロンーDP軟膏 リンデロンーDPクリーム	塩野義製薬 ◇
	0.05% ジフルブレドナート	マイザー軟膏 マイザークリーム	田辺三菱製薬 ◇
		ビスダーム軟膏 0.1% ビスダームクリーム 0.1%	日医工 ◇
	0.1% アムシノニド	ネリゾナ軟膏 ネリゾナクリーム ネリゾナユニバーサルクリーム	インテンディス ◇ ◇
		バンデル軟膏 0.1% バンデルクリーム 0.1%	大正富山医薬品 ◇
	0.1% 酪酸プロピオン酸ヒドロコルチゾン	エクラー軟膏 0.3% エクラークリーム 0.3%	久光製薬、鳥居薬品 ◇
		メサデルム軟膏 0.1% メサデルムクリーム 0.1%	大鵬薬品工業 ◇
	0.12% デキサメタゾン吉草酸エステル	ボアラ軟膏 0.12% ボアラクリーム 0.12%	マルホ ◇
		ベトネベート軟膏 ベトネベートクリーム リンデロンーV軟膏 0.12% リンデロンーVクリーム 0.12%	第一三共 ◇ 塩野義製薬 ◇
	0.025% ベクロメタゾンプロピオン酸エステル	プロバデルム軟膏 プロバデルムクリーム	協和発酵キリン ◇
	0.025% フルオシノロンアセトニド	フルコート軟膏 0.025% フルコートクリーム 0.025%	田辺三菱製薬 ◇
		リドメックスコーワ軟膏 リドメックスコーワクリーム	興和創薬 ◇
	0.1% アルクロメタゾンプロピオン酸エステル	アルメタ軟膏	塩野義製薬
	0.05% クロベタゾン酪酸エステル	キンダベート軟膏 0.05%	グラクソ・スミスクライン
	0.1% ヒドロコルチゾン酪酸エステル	ロコイド軟膏 0.1% ロコイドクリーム 0.1%	鳥居薬品 ◇
		リンデロンーVG軟膏 0.12% リンデロンーVGクリーム 0.12%	塩野義製薬 ◇
配合剤	0.12% ベタメタゾン吉草酸エステル ＋ゲンタマイシン硫酸塩	ベトノバルG軟膏 ベトノバルG クリーム	佐藤製薬 ◇
		ベトネベートN軟膏 ベトネベートNクリーム	第一三共 ◇
		フルコートF	田辺三菱製薬
	0.025% フルオシノロンアセトニド＋フラジオマイシン硫酸塩		
非ステロイド系抗炎症剤	5% ブフェキサマク	アンダーム軟膏 5% アンダームクリーム 5%	日医工 ◇
		スタデルム軟膏 スタデルムクリーム	鳥居薬品 ◇
	5% イブプロフェンピコノール	コンベック軟膏 5% コンベッククリーム 5%	田辺三菱製薬 ◇
免疫調整外用剤	0.1% タクロリムス水和物	プロトピック軟膏 0.1%	アステラス製薬
	0.03% タクロリムス水和物	プロトピック軟膏 0.03%小児用	

注) ※内容についてのお問い合わせは右記ライフサイエンス出版宛をお願いします。

改訂年月：2009年10月
企画・発行：グラクソ・スミスクライン（株）
編集・制作：ライフサイエンス出版（株）
〒103-0024 東京都中央区日本橋小舟町11-7
TEL 03(3664)7900